グループホームかりん　第4回運営推進会議　報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 令和２年10月16日（金）１３：３０～１4：３０ |
| 開催場所 | グループホームかりん |
| 出席者 | 構成区分 | 人数 | 構成区分 | 人数 |
| 利用者の家族 | １名 | 地域包括支援センター | １名 |
| 地域住民の代表 | 2名 |  |  |
|  |  |  |  |
| 事業所出席者 | 施設長 | グループホーム職員 | 1名 |
| グループホーム管理者 |  |
| 欠席者 | 行政（市長寿社会課） |

* **開会**
* **利用状況報告について**

令和２年10月1日　現在

|  |  |
| --- | --- |
| 入居者の状況 | 入居人数（１８ 名）　男性（ 4 ）名　　女性（14）名 |
| 要介護１（2名）　要介護２（6名）　要介護３（6名）要介護４（3名）　要介護５（1名）平均要介護度（2.72） |
| 年齢（平均87.2歳）（最若70歳）（最高98歳） |

さくらの家～　要介護１（2名）　要介護２（2名）　要介護３（2名）要介護４（2名）

要介護５（1名）　平均要介護度（2.77）

もくれんの家～要介護１（0名）　要介護２（4名）　要介護３（4名）要介護４（1名）

要介護５（0名）　平均要介護度（2.66）

・8.9月の状況報告

8/21　要介護2　女性　入院

8/25～9/3　要介護２　女性　ショートステイ　利用

9/4　　要介護２　女性　退院

２、事業所活動報告について

（１）8.9　月活動状況と　その他生活の様子

（２）職員会議、研修会等

＜毎月定例としてあるもの＞

・１日：運営会議

・１５日：職員全体会　8.9月は中止

・第２火曜：リスク委員会

・第2木曜：サービス向上委員会、身体拘束廃止・虐待防止委員会

・第４月曜：在宅サービス課会議、課目標の状況報告

（かりん会議）

・リーダー会議　各リーダーと管理者が運営会議を基に統一事項について確認

・フロア会義　各ユニットで事例検討、見直しカンファレンス、個人の情報

・ＧＨ係会議　かりん全体での会議、研修、研修の振り返り

３、ヒヤリハット報告について

（１）ヒヤリハット（8月：　5件　　9月：　6件）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 起こりうるリスク | 転倒・転落等 | 表皮剥離打撲・裂傷 | 喉詰め誤飲・誤嚥 | 医療健康 | 誤薬 | 離所 | 情報共有ミス | 業務ミス | 紛失 |
| 8月 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 9月 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |

**（２）事故（8月：　4件、　9月：　2件）**

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 転倒・転落等 | 表皮剥離打撲・裂傷 | 喉詰め誤飲・誤嚥 | 医療健康 | 誤薬 | 離所 | 情報共有ミス | 業務ミス | 利用者トラブル |
| 8月 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | ０ | ０ |
| 9月 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | ０ | 0 | ０ | ０ |

・意見交換

【水防避難訓練】

今年度、６月に水害の避難訓練実施、西中学校に避難した。だが、７月熊本豪雨の被害（特別養護老人ホーム千寿園）を受けて、利用者が西中体育館に一時避難をしても生活が出来るであろうか、熊本豪雨レベルの被害であればマグノリアに避難をした方が良いのではと協議し9月20日に公用車5台を使って利用者18名を上井のマグノリアに避難をした。かりんより１号車が出発し５号車がマグノリアに到着、人員確認が終わるまでに１時間かかったことを報告。命を守る避難行動として、「避難準備・高齢者避難（洪水）」が令和1年は３回発令された。今後迅速に対応していく。

→高齢者の避難であれば、身障トイレの設備が整っているのは、養護学校であるが、養護学校も川沿いである。

【子ども食堂】

令和1年１２月にミニ子ども食堂を行ったが、令和２年はコロナのこともあり実施してない状況。

ご利用者と地域の方との交流を通じ認知症の方の理解を深める事は出来ないが、今後やり方を考えながら、毎月季節ごとのカレーの提供を目指して取り組みたい。食数は３０食程度、専用の容器を使用しテイクアウト方式はどうかと考えている。10/31を予定。西倉吉町の子供会長さんにも相談をして行く。

◆地域代表

・水難訓練は必要であると思います。その他色々な訓練が必要になってくると思います。

・コロナの感染について、何かシュミレーションなどはされていますか？

→法人として、対策本部の方針があり感染ラウンドでの指示を受け改善をしています。

◆地域代表

・今年は西倉町内も小鴨地区の活動も中止となっています。10/18は秋の総事を今年度初めて行います。

・コロナの感染予防も大変ですが、これからも連携を取ってやって行きましょう。

◆地域包括支援センター

・ヒヤリハットは細かく分析がしてありました。危機管理、先を見据えた対応が分りました。

・２回転倒をされた方の、立ち上がりに着目し次の対策が出来ていました。

・活動報告で避難訓練やレク活動も楽しそうでした。

◆家族代表

・細やかな対応で、感謝しています。

・事故ヒヤリに関して命を守る者として、職員声の掛け合いは、誰かがしつこく声をかけ合わなくてはいけないが、難しい問題であると思います。

・コロナで面会は禁止となっていましたが、ご家族で何か工夫をされている方は有りますか？

→ご家族がスケッチブックにお手紙を書かれ、ご利用者が日々の脳トレのプリントを貼って交換をしている事を紹介。その他、毎日ハガキが届く方、電話をされてこられる方もあると報告。

4月、５月はさみしさの声も聞かれていたが、最近はあまり聞かれていませんが心情的には思っておられるのかもしれません。今後の面会については、新型コロナウイルス感染症に伴う対策本部の方針や職員行動基準に沿って対応していく。

次回開催予定：令和２年12月18日（金）１３：３０～